

実践記録

141

シリーズ

家庭教育学級「プレママ楽級」

新潟市坂井輪地区公民館長 上西 裕子

●はじめに

新潟市では平成19年3月に、新潟市教育ビジョン前期実施計画を策定し、家庭教育の充実と子育て支援を進めております。従来から、親が安心して子育てできるように学習の機会を設けるとともに、親同士の情報交換や仲間づくりを図る取り組みを充実するため、乳児期以降の家庭教育学級を開催してきましたが、さらに妊娠中の親も対象として加え「プレママ学級」を、中央・亀田・坂井輪の市内3カ所で実施しました。



また、この時期は、夫にとっても初めてのことであり、不安や戸惑いがあることから、子育てについて強い関心を持ててもらえる時期となっています。子育てになかなか関わることのない父親への子育て参加のよい機会にすることも目指しました。



●評価と今後の展開

全回を通して80～90%と出席状況はよい結果でした。毎回、話し合いをしたり、ゲームをしたりと講師と参加者、参加者同士触れ合える時間を十分に取ったことで、出産時の不安や育児の悩みが軽減されたと同時に、妊婦同士共通の話題を持つ友達ができたことで、とても満足してもらえました。

また、4回目の「夫婦で子育て」の回は、講師の都合で予定していた日にできなくなり、後日追加実施したにもかかわらず、半数の12人が参加。うち10人が夫婦で参加してくれました。

●事業概要

1 開催会場

新潟市坂井輪地区公民館

2 対象

初めての出産を迎える32週までの妊婦20人

3 開催日・内容・講師

回	開催日	内容	講師
1	9/25 (金)	家族が増えるということは 家族が3人になり子どもを育てることがどういうことなのかを考える [初めての出産そして育児について]	助産師 小柳 恭子さん
2	10/2 (金)	友達を作りましょう 情報を交換することで、子育ての話ができる仲間作りをする [イロイロ話せる友だち作りましょう]	まちづくり学校 山賀 昌子さん
3	10/16 (金)	先輩ママとおしゃべり 先輩ママと話すことで子どもが生まれてからの生活を想像してみる [先輩ママの子育てのはなし]	子育て支援グループ会員 八坂絵里子さん ゆりかご学級受講生
4	10/31 (土) ※夫婦で参加	夫婦で子育て 夫婦でコミュニケーションをとりながら子育てをすることの大切さを考える ※夫婦で参加も可	子育て支援者 木村いほ子さん

夫のアンケート回答の中には、

- ・たいへん有意義だった。
- ・仕事で大変だが、子どもを育てるという気持ちを忘れずに手伝える時は進んで手伝いたい。
- ・夫として親として、子育てに協力・参加しなくてはいけないと感じることができ大変ためになった。

などの意見があり、なかなか親になることへの実感を持つことができない父親にとっても、よい機会になったようです。

また、保健センターの保健師と連携することで、受講者の健康管理に配慮することができました。今後は、安産教室に参加された妊婦への声かけもやっていこうと考えています。

残された課題としては、安定期に入った人を対象としたため受講者が一定期間の人に限られてしまうことから、年に数回開催する必要があると考えています。